

人間と生命 (Humanity and Life)

古代ギリシアの人と思想 (Greek Philosophers)

吉田 昌市・教授/大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部

2単位 前期 水 3・4

(平成 19 年度以前の授業科目:『人間と生命』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目:『哲学』)

【授業の目的】 古代ギリシアの思想のなかから、興味深いテーマや興味深い人物などを選んで授業を行う。歴史的な知識を得させることを目的とはしない。思想や哲学を学ぶということは、思想家、哲学者と言われる人々が書き残したものに触発され、自分でものを考えはじめることであろう。そのためには、彼らが書いたものをじっくりと読み、彼らの言葉に耳を傾けることが不可欠である。この授業を、そうした意味での読み、そして聴く時間にしたい。それは、現代という時代の中で不可欠な、自立した批判的精神をはぐくむのに有用なはずである。

【授業の概要】 上記の目的を達成するために、あるまとまった分量のテキストを、古代ギリシアを中心とした哲学者・思想家のなかから選んで、受講生諸君に提示する。実際に読むのは受講生諸君みずからであり、教師は読むための手助けができるだけである。

【キーワード】 社会と自然, エロース, 論理, 知

【到達目標】 既にもっている考えや立場を一度疑い、吟味する態度を、幾分かでも身につけること。

【授業の計画】

1. 人間を越えるもの:ヘラクレイトス, プラトン『パイドン』『ティマイオス』など
2. 人間を越えるもの(続):ヘラクレイトス, プラトン『パイドン』『ティマイオス』など
3. 論理:パルメニデスとゼノン
4. 論理(続):パルメニデスとゼノン
5. いかに生きるべきか(その一):「ノモスとピュシス」の思潮と『ソクラテスの弁明』
6. いかに生きるべきか(その二):「ノモスとピュシス」の思潮と『ソクラテスの弁明』
7. いかに生きるべきか(その三):「ノモスとピュシス」の思潮と『ソクラテスの弁明』
8. エロースとは何か:プラトン『饗宴』より
9. エロースとは何か(その二):プラトン『饗宴』より

10. エロースとは何か(その三):プラトン『饗宴』より
11. 「無知の知」:プラトン『ソクラテスの弁明』より
12. 「無知の知」続:プラトン『ソクラテスの弁明』より
13. 「知る」とは?(その一):プロタゴラス「人間尺度説」と懐疑論, プラトン『国家』線分の比喩, など
14. 「知る」とは?(その二):プロタゴラス「人間尺度説」と懐疑論, プラトン『国家』線分の比喩, など
15. 成績評価のために使用する。
16. 授業全体の総括にあてる。

【教科書】 なし。資料となるプリントを配布する。

【参考書等】

- ◇ 主な参考文献は次の通り。
- ◇ 広川 洋一 『ソクラテス以前の哲学者』 講談社 (単行本および学術文庫版)
- ◇ 田中美知太郎 『ソクラテス』 岩波新書
- ◇ 同上 『ソフィスト』 講談社学術文庫
- ◇ F. M. コーンフォード 『ソクラテス以前以後』 岩波文庫
- ◇ A. コイレ 『プラトン』 みすず書房
- ◇ R. S. ブラック 『プラトン入門』 岩波文庫
- ◇ 藤沢令夫 『プラトンの哲学』 岩波新書
- ◇ 藤沢令夫 『ギリシア哲学と現代』 岩波新書

【成績評価の方法】 おおよその目安として:授業への取り組み方 (30%)+何度か行う予定の小テスト (20%)+学期末の試験 (50%)

【再試験の有無】 再試験は一度だけ行うが、不合格者全員が自動的に再試験を受験できるわけではない。

【WEB 頁】 http://www.ias.tokushima-u.ac.jp/tetsugak/phil_index.html

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220735>

【連絡先(オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】

⇒ 吉田 (総合科学部 1 号館 1N11 室 (北棟 1 階), 088-656-7150, shoichi@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 水曜 12 時から 13 時)